

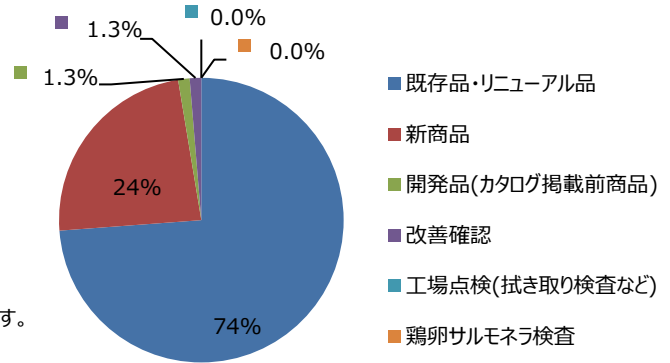
2023年度検査結果(4月累計)

微生物検査

一般生菌、大腸菌群、大腸菌、真菌等の衛生指標菌および、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、サルモネラ、セレウス等の食中毒菌を検査し、食品の腐敗・変敗、食中毒を防止するとともに、食品製造現場における衛生管理向上に役立っています。

検査対象品	検体数
既存品・リニューアル品	282
新商品	90
開発品(カタログ掲載前商品)	5
改善確認	5
工場点検(拭き取り検査など)	0
鶏卵サルモネラ検査	0
合計	382

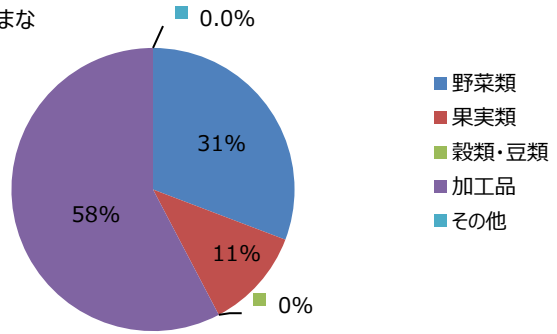
※鶏卵サルモネラ検査は、卵殻と卵内容について外部委託機関にて実施しています。年に4回、全産地・全種類のたまごを対象に行っています。



残留薬剤検査

人や環境に対する毒性の強い農薬等の化学物質403成分について、一斉分析を行っています。産地での使用状況、残留事例、農薬の流通量等、その他さまざまな情報を参考に、検査する薬剤を決めています。

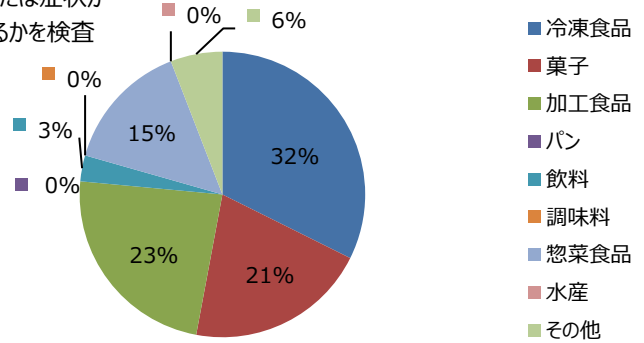
検査分類	検体数	検査成分数
産直品		
野菜類	8	3,193
果実類	3	1,191
穀類・豆類	0	0
加工品	15	5,970
その他	0	0
合計	26	10,354



アレルギー検査

加工品について、食物アレルギーを引き起こす物質のうち、症例が多いまたは症状が重篤な卵・乳・小麦・そば・落花生・甲殻類(えび・かに)が含まれているかを検査し、原材料表示およびコンタミ表示の適正確認をしています。

検査商品分類	検体数	検査商品分類	検体数
冷凍食品	11	調味料	0
菓子	7	惣菜食品	5
加工食品	8	水産	0
パン	0	その他	2
飲料	1		
合計			34



その他の検査

	鶏卵	ヒスタミン	食品添加物	動物薬	重金属	一般成分	米品種	GMO	産地判別	合計
検体数	33	2	0	0	0	0	0	2	1	38
検査項目数	165	2	0	0	0	0	0	2	1	170

※鶏卵検査、ヒスタミン検査、食品添加物検査の一部は商品検査センターにて検査を実施。その他の検査は外部委託機関にて検査を実施。

- **鶏卵検査**：卵重、卵殻強度、卵殻厚、卵黄色、鮮度の指標となるハウユニット(卵白高)を測定することで品質管理を行っています。1ヶ月に1度の頻度で全産地・全種類のたまごを対象に行っています。
- **ヒスタミン検査**：生魚(鮮魚、冷凍魚肉)や、その加工品のヒスタミン濃度を測定して品質管理を行っています。夏場を中心にサバ、カジキ、マグロ等について実施しています。
- **食品添加物検査**：保存料、発色剤などの添加物について、パルスシステム基準を逸脱した使用がないかを確認しています。
- **動物薬検査**：動物用医薬品や飼料添加物について残留の有無を確認します。たまご・肉類について実施しています。
- **重金属検査**：米のカドミウム検査を実施しています。玄米段階での抜き取り検査で基準を逸脱していないかを確認しています。
- **一般成分検査**：油脂の劣化を評価するために指標となる「酸価」「過酸化価」を測定します。油脂で処理した食品や油脂分を多く含む食品(主に菓子類)について実施しています。
- **米品種確認検査(米DNA検査)**：米について、他品種の混入の有無があるかの検査を行い、表示の適正確認を実施しています。
- **GMO検査(遺伝子組換え体含有検査)**：遺伝子組換え作物の混入の有無を検査します。不使用表示をしている商品の原料について実施しています。
- **産地判別検査**：タケノコについて検査し、産地表示の適正確認をしています。